

2024年(令和 6年) 6月号 はなみずき

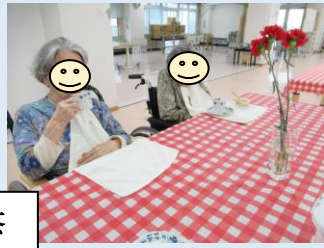
ホーム喫茶

慶福苑では毎月ホーム喫茶を行っています。毎月第2・第4の日曜日に開き、利用者様1名に対して、2か月に1度の参加となっています。メニューは数種類のケーキ、ケーキを食べる事が難しい利用者様にはプリン等、ドリンクはコーヒーや紅茶、ジュースを用意しています。

ホーム喫茶の担当職員のに毎月ボランティアの方が数名来て頂き活動をしています。日常の生活の中で、喫茶店でお茶を飲んで貰ったり過ごすという事がなかなか出来ない中で、施設内ではありますが、テーブルクロスを敷き、花を飾り、音楽を掛けて雰囲気づくりをし、スイーツを召し上がりながら、有意義な時間を過ごしていただけたらと考えています。

山田

ホーム喫茶



貼り絵クラブ (2)



貼り絵クラブ (1)



作品「こいのぼり」



今年度より余暇広報委員会の委員長を担当することになりました青木と申します。入社して10か月でまだまだ至らぬ点が多く、周りの職員の方と協力しながら邁進して参りますのでよろしくお願い致します。慶福苑では午後の時間に散歩、塗り絵、陶芸、料理などのクラブ活動を行っています。どのご利用者様にも参加出来るような内容になっています。ここ数年のコロナ禍でボランティアの方が来られなくなってしまうたりして、過ごし方にも変化が見られるようになってきました。今年度、委員会の話し合いにて新しくレククラブを作りました。内容は季節に沿って作成物を作ったりしています。5月はこいのぼりをご利用者様と一緒に作りました。ご利用者様の好みや行える事は人それぞれですが、少しでも体を動かし、楽しく感じてもらえるようにやっていたらと思っています。

青木

レククラブ



塗り絵クラブ

焼きそば



料理クラブ

端午の節句



利用者様の何名かに子供の頃に5月5日子供の日にどんなことが思い出に残っていますかと尋ねたところ、大きい鯉のぼりを庭に揚げましたとか、兜だけ飾って柏餅をたべました。また大きい鯉のぼりをあげて、子供が大きくなった後にもう使用しないので、学校に寄付しましたというお話をしてくださいました。鯉のぼりや兜を飾る風習はどのくらい昔から行っていたのか、またなぜ鯉のぼりや兜なのか調べてみると、鯉のぼりをあげる風習が始まったのは江戸時代で鯉は生命力がとても強く、急流を上って龍になって天にのぼる中国の伝説にあやかって家の前に鯉を掲げること将来の立身出世を願うと説があります。また五月人形の兜は鎌倉時代から男の子の節句として成長と健康を祈る行事です。五月人形には武者姿の人形や鎧や兜を飾るのも、身体を守るという意味があり、事故や怪我を避けるという意味があるそうです。五日当日には、兜と大きい鯉のぼりのポスターの前で職員が作成した紙の兜と画用紙で作った鯉のぼり2匹を手にもって記念撮影に皆様参加してくださいました。照れ笑いを浮かべる利用者様もいました。3階では在宅酸素や体調の関係により居室で撮影された方が4名ほどで、あとの53名はダイニングで参加していただきました。

大久保

端午の節句の行事を開催しました。



メニュー
 ハラコ飯（宮城）
 牛のバラ焼き（青森）
 芋煮（山形）
 ずんだ白玉（宮城）
 さくらんぼ（山形）
 ざくざく汁（福島）
 りんごジュース（青森）



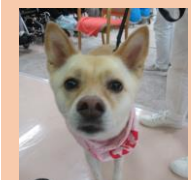
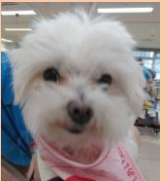
お食事会
 ～東北地方～



東洋英和女学院
 お花の日訪問・プレゼント



ハンズオンの壁飾り



発行者
 社会福祉法人
 恩賜財団慶福育児会
 特別養護老人ホーム
 麻布慶福苑
 〒106-0047
 東京都港区南麻布5-1-20
 TEL 03-3446-5501
<http://www.azabukeihukuen.com>

皆様からのご意見・ご感想
 をお寄せ下さい。
 お待ちしております



アニマルセラピー
 ワンちゃんオールスターズ

